

山口和之さんの
いきいき
Interview vol.9
企業探訪



日本はもっと
強くなれる
優しくなれる

山口 和之
(やまぐち・かずゆき)

元衆議院議員・元参議院議員・南東北グループGM・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院(現在の当院)のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。



東北支店長
茂木 広明氏
(しげもと・ひろあき)

ワタキューセイモア(株)

郡山営業所/郡山市富田東一丁目440
TEL.024-991-7317
<https://www.watakyu.co.jp/>



需要が伸びている入院セット

山口 病院運営には協力企業のサポートが欠かせません。今回は京都府に本社・本部を置き全国展開しているワタキューセイモアの茂木広明東北支店長にお話を伺います。まずは事業内容や経営理念などについてお聞かせください。

山口 様々な事業展開の中で特に力を入れていることは。茂木 患者さん用の入院セットです。衣類やタオル、歯ブラシなどの日用品や紙おむつを日額制で提供しています。良いサービスだと徐々に認知さ

医療・福祉業界支援に特化し、あらゆる業務を行う総合会社
感謝の気持ちと謙虚な姿勢で、何事にも取り組む

れ、導入を検討されている患者さんが大勢います。山口 コロナ禍で変わったことやニーズの変化は。茂木 事務部門や営業部門を中心にITの活用を強化し、システムを構築。リモートでの会議や商談、在宅勤務などを実施しましたが、改めてお客様と対面で商談することの大切さを実感しました。ニーズの変化として、コロナ禍では病院内で洗濯物を一次消毒する余裕がなく、感染拡大防止の意味合いも兼ねて、コロナ感染専用の集配車で不潔物を回収するようにしました。二次感染を防ぐため、回収物を専用の倉庫に一旦保管し、当社で消毒してから洗濯するという対策を取りました。山口 採用や人材育成に力を注いでいるそうですね。茂木 人材確保は会社の存続に関わります。東北地方は10年後に人口が約134万人



社是を掲げる茂木支店長と山口さん

も減少すると言われており、新卒の高校生や大学生は勿論のこと、障がい者や外国人技能実習生を積極的に雇用しています。採用も必要ですが離職者を出さないことが最も大切だと考えています。本部には社是にちなんだ研修センター「心館」があり、新入社員らがビジネスマナーや業務知識の習得に励んでいます。山口 働き方改革や社員の福利厚生などはいかがですか。

茂木 働き方改革については洗濯工場であれば省人化に対応した機械への入替え、生産性向上のためのリネン資材の入替えや資材集約化を進めています。事務作業を自動化するためRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)を試験導入しています。福利厚生は育児支援制度「パパママサポート」があり、出産日から1年間は紙おむつとおしりふきを無料で提供しています。保育事業「こころキッズ」では複数の事業所に保育ルームを設けています。男性社員の育休取得も増え、昨年に「くみるみん認定」を取得し、公に「子育てサポート企業」として認められました。山口 今後の夢やビジョンをお聞かせください。茂木 少子高齢化による労働力不足や、さらにその先の高齢者人口さえも減る時代においても、当社の事業である医療と福祉は決してなくなることはないでしょう。未来に渡ってお客様に選ばれる会社、若い人たちが希望を持てる会社になりたいと思います。山口 患者さんが快適に、医師や看護師が最大限に力を発揮できるのはワタキューさんの企業努力のお陰です。これからもよろしくお願います。